【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成31年4月25日(2019.4.25)

【公開番号】特開2017-196196(P2017-196196A)
【公開日】平成29年11月2日(2017.11.2)
【年通号数】公開・登録公報2017-042
【出願番号】特願2016-89893(P2016-89893)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｆ　9/007　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｆ　9/007　１３０Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成31年3月12日(2019.3.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
眼組織を破砕する筒状のチップと、灌流液を眼内に流出させる流出孔と、前記チップの先端に形成され破砕した前記眼組織と前記眼内に流出させた前記灌流液とを吸引する吸引孔と、を有する手術器具において、
前記流出孔は、前記チップの周方向に沿って細長形状に形成され、かつ、複数形成されていること、
を特徴とする手術器具。
【請求項２】
請求項１の手術器具において、
前記チップの先端を突出させた状態で前記チップを被覆する筒状のスリーブを有し、
前記流出孔は、前記スリーブに形成されていること、
を特徴とする手術器具。
【請求項３】
請求項２の手術器具において、
前記スリーブは、当該スリーブの先端側の部分に外径が徐々に大きくなるテーパ部を備え、
前記流出孔は、前記テーパ部に形成されていること、
を特徴とする手術器具。
【請求項４】
請求項１乃至３のいずれか１つの手術器具において、
２つの前記流出孔が前記チップの中心軸を中心にして対称に形成されていること、
を特徴とする手術器具。
【請求項５】
請求項１乃至４のいずれか１つの手術器具において、
前記流出孔は、前記チップの後端側に凸の円弧状に形成されていること、
を特徴とする手術器具。